

(別紙4-1)

危険性が確認された構造計算書偽装物件(マンション)に係る居住者の退去状況等<sup>(注1)</sup>

(平成18年4月17日17時現在)

	総入居戸数 <sup>(注2)</sup> (当初)	うち退去済	うち入居中			
			4月30日までの退去予定	5月1日以降退去予定又は退去日未定	その他	
分譲 (11棟)	309戸	<u>286戸</u> (+3)	<u>23戸</u> (-3)	<u>7戸</u> (-3)	<u>12戸</u> (+2)	<u>4戸</u> (-2)
賃貸 (7棟)	197戸	195戸	2戸	0戸	<u>2戸</u> (+1)	<u>0戸</u> (-1)
計	506戸	<u>481戸</u> (+3)	<u>25戸</u> (-3)	<u>7戸</u> (-3)	<u>14戸</u> (+3)	<u>4戸</u> (-3)

(注1)「危険性が確認された構造計算書偽装物件(マンション)」とは、 $Q_u/Q_{un}$ (保有水平耐力/必要保有水平耐力)値が0.5未満であり、震度5強程度の地震で倒壊するおそれがあるものをさす。

(注2)空室を含めると、総戸数は分譲332戸、賃貸213戸の合計545戸